

2009年6月11日

IOSCO(証券監督者国際機構)による国際監査基準に関する声明

IOSCOは、投資家を保護し、国際的な資本市場の公正性及び秩序ある運営の促進のために協働する証券規制当局による国際機関である。このような共同作業は、投資家の意思決定にあたっての信頼性の基となるものである。

投資家にとって重要な情報は、証券の発行体の財務諸表である。そして、独立監査人による財務諸表監査は、財務諸表に対する投資家の信頼性を向上させるためのものである。このため、監査を実施する際の基準は、監査の品質を保つ上で不可欠であるだけでなく、公益に資する上でも重要である。

国際的な監査基準は、国際的にも国内の監査基準の標準としても、投資家、監査人、監査監督機関及び証券規制当局が国際的な資本市場でそれぞれの役割を果たすための、共通の監査言語を提供するものである。

IOSCOは、長期間にわたり、国際監査基準（ISA）を策定する民間の基準設定主体である国際監査・保証基準審議会（IAASB）による作業を通じた、一組の国際的な監査基準にかかる取組みを支援してきた。なお、IAASBは国際会計士連盟（IFAC）を設立母体とし、公益監視委員会（PIOB）の監視下にある組織である。

過去数年間、IAASBはISAの本文の構成を見直し、改善するプロジェクト（いわゆる明瞭性プロジェクト）に取り組んできた。ISAに関する2007年11月9日の声明に記載のとおり、IOSCOはこれらの取組みを支持してきた。IAASBは、今般、この取組みの完了と明瞭化されたISAの公表を宣言した。IOSCOはこの画期的成果を歓迎する。IOSCOはISAの規定を明瞭化することによる効果に着目し、従来のISAを新しい基準に置き換えることを支持する。IOSCOは、今後のISAの継続的な改善だけでなく、グローバルな監査慣行の実現に向けた翻訳、教育、その他の分野における多くの人々による継続的な進展を期待する。

IOSCO は国際的な財務報告に貢献し、投資家の信頼と意思決定の裏づけとして、一組の国際的な監査基準によって果たされる役割の重要性を確信している。国際的な資本市場における現状は、その支援の重要性を強調するものである。IOSCO は、現在、多くの証券規制当局がその資本市場において、ISA によって行われた監査を受け入れていることを留意する。これにより、ISA が、資本市場におけるクロスボーダーでの証券公募及び上場の促進において、重要な役割を果たすことができる。

IOSCO は、クロスボーダーでの公募及び上場のために、証券規制当局が、明瞭化された ISA により実施・報告される監査を受け入れることを促す。ただし、その受け入れの可否は、各国における多くの要因や状況に依存することは認識している。更に、IOSCO は、各国又は各地域レベルの要因が考慮されることを認識しつつ、国内向け公募及び上場においても、明瞭化された ISA が果たす潜在的役割に着目し、証券規制当局と関連当局が、国内向けの監査基準の設定にあたり、明瞭化された ISA を考慮に入れることを促す。